

ばあちゃんのう
た 九品蓮台

清瀧源一郎

目次

ぼちゃんのセーター	1
ぼあちゃんの一輪車	2
ぼあちゃんのいない夏	3
ぼあちゃん	4
ぼあちゃんのいない夏2	5
誕生日	6
秋	7
夢	8
生きた	9
サーカス	10
たばこ	11
豚	12
北海道	13
再会	14
欲	15
虫入り雷	16
中秋の名月	17
夏	18
おめでとう	19
ぼあちゃんの団子	20
もろみ	21
ぼあちゃんのピンタ	22
そうめん	23
オロナミンC	24
味方になってあげられなくてゴメンね。	25
週刊誌。	26
もう春ですね	27
味千ラーメン	28
最近、ぼあちゃんの夢を見なくなりました	29
お彼岸	30

ばちゃんのセーター

ばあちゃんが編んでくれた青いセーター、

あぶん、一度も着なかった。

ごめんね。

せっかく編んでくれたのに。

大学生だったから、恥ずかしかったんだ。

ごめんね。

着てたら、きっと、心も体も温かくなったよね。

ごめんね。

ばあちゃん。

ばあちゃんの一輪車

ばあちゃんは僕に、車を買ってくれた。

初めての、マイカーだった。

うれしかた。

ばあちゃんのマイカーは、一輪車だったんだね。

毎日、鍬や鎌をのせて、畑に行ったもんね。

ごめんね、ばあちゃん。

ばあちゃんのいない夏

この夏は、ばあちゃんのいない、初めての夏だよ。

昔のことが、懐かしく思い出されるよ。

でもばあちゃん、安心してね。

俺は、強く生きることにしたよ。

ばあちゃんのいない、最初の夏を、

迎えに行くことに決めたよ。

ばあちゃん

今朝、ばあちゃんの夢を見たよ。

うれしかった。

夢の中では、ばあちゃんが生きていたから。

目が覚めたら、

少し寂しかったよ。

ばあちゃんのいない夏2

ばあちゃんのいない夏は、予想以上に厳しいね。

でもね、ばあちゃん、

俺は、強く生きていくよ。

ばあちゃんの魂を受け継いだからね。

おやすみ、ばあちゃん。

誕生日

今日はばあちゃんの、93回目の誕生日だね

庭に、一輪の花が咲いたよ。

ばあちゃんは、まだ生きてるんだね。

おやすみ。

秋

鈴虫がないてるよ、ばあちゃん。

もう秋だねえ。

ばあちゃんは、秋は寂しいからいやだって言ってたね。

夢

今朝、またばあちゃんの夢をみたよ。

あだ、ばあちゃんが生きてたら、

本当にいいんだけどね。

生きた

ばあちゃんは、

生きた、

生きた、

生きた、

生き抜いた。

どんなに辛いことがあっても、

戦争にも、世間にも負けなかった。

そして、家を、みんなを守ってくれた。

最後は、病気をねじ伏せて、

自ら天へと旅立った。

ありがとう、ばあちゃん。

サーカス

ばあちゃん、

おくがまだ、小さい頃、

サーカスに連れて行ってくれたね。

あれは、どこだったんだろう。

トランポリンしたね。

ありがとう。

ばあちゃん。

たばこ

ばあちゃんは、たばこのLARKを勝ってきてくれたね。

アルファベットも読めないはずなのに、

たばこのLARKの文字を、紙に書いて、ろくんぞで買ってきてくれたよね。

ありがとう。

本当に、申し訳ないよ。

ごめんね。

ばあちゃん。

豚

ばあちゃんは、働き者だったから、

子供の頃、畑仕事の他に、豚を飼ってたね。

まだ子供だったから、少し恥ずかしいと思ったこともあったよ。

ごめんね。

豚が売れると、僕と妹に、お小遣いをくれたね。

そして、バスで、田舎の小さなデパートに行って、何でも食べさせてくれたね。

本当にありがとう。

ありがとう、ばあちゃん。

北海道

昔、ばあちゃんと二人で、北海道旅行の計画があったよね。

でも、直前で、キャンセルになったね。

子供だったから、なぜだか解らなかった。

残念だったけど、それもまた、いい思い出になったよ。

いつか、北海道に行くよ。

ばあちゃんの写真と一緒にね。

再会

ばあちゃん、そっちはどうだい。

じいちゃんとは、会えたかい。

じいちゃんの顔、忘れたって言ってたそうだね。

思い出したかい。

こっちは、残暑が厳しいよ。

欲

ばあちゃんは無欲だったね。

働き者だったのも、自分のためじゃなく、家族や、みんなのためだったよね。

本当に無欲な人だったんだね。

だから強かったんだね。

ばあちゃん、ありがとう。

虫入り雷

ばあちゃん、

今年も、ばあちゃんが言った、虫入り雷が鳴ったよ。

季節は変わっていくんだね。

時は確実に流れてるんだね。

今年も、あと三ヶ月です。

ばあちゃん。

おやすみ。

中秋の名月

ばあちゃん、

今夜は、中秋の名月だよ。

ばあちゃん、

ばあちゃんも、みえますか？

ああ、

ばあちゃんは、お月様になったんだね。

夏

夏

かき氷

ばあちゃんと食べた、そうめん。

友達に行ったプール。

魚釣り。

夕立、蝉の声。

かぶとむし。

ばあちゃんが作ってくれた、カレーライス。

盆踊り。

ばあちゃんは、もう、いない。

今年の夏も、もうすぐ、終わる。

おめでとう

ばあちゃん、

95回目誕生日、

おめでとう！

ばあちゃんの団子

なつかしいね、

ばあちゃんが作った団子。

子供の頃は、良くわからなかったけど、

今思うと、本当においしかったよ。

もう一度食べたいな、

ばあちゃんが作った団子。

もろみ

ばあちゃんと、よく行ったもろみ屋さん。

ばあちゃんは、あの店のもろみが、大好きだった。

駐車場が狭いので、

込んでるときには、隣の銀行の駐車場で待っていた。

あの店に行けば、ばあちゃんに会えそうな気がする。

ばあちゃんのビンタ

ばあちゃん、

ばあちゃんのビンタ、

懐かしいよ。

農業と工事現場で鍛えられた太い腕と、

ものすごいビンタが、懐かしいよ。

ねえ、ばあちゃん。

ありがとう。

そうめん

そうめんを食べると、

ばあちゃんを思い出すよ。

夏の日、

二人で食べた、そうめん。

懐かしいね、ばあちゃん。

そうめんを食べると、

ばあちゃんを思い出すよ。

オロナミンC

オロナミンC。

畑仕事していると、

よく買ってきてくれたよね。

厳しいけれども、

愛の深いばあちゃんだった。

今日、ばあちゃんに買ってきたよ。

オロナミンC。

味方になってあげられなくてゴメンね。

ばあちゃんの味方になってあげられなかった。

ばあちゃんは、いつも僕の味方をしてくれたのに、

僕はばあちゃんの味方になってあげられなかった。

今なら、ばあちゃんの気持ちがよくわかるよ。

ゴメンね・・・、

ばあちゃん・・・。

週刊誌。

ばあちゃん・・・、

週刊誌買ってきたよ・・・。

ばあちゃん・・・、

好きだったよね・・・、

週刊誌・・・。

時々・・・、

頼まれて買ってきてた・・・。

懐かしくなって・・・、

久しぶりに買ってきたよ・・・、

週刊誌・・・。

ばあちゃんのために・・・。

読んでね・・・、

ばあちゃん・・・。

もう春ですね・・・。

もう春ですね・・・。

ばあちゃん・・・。

ばあちゃんがいなくなって・・・、

どのくらいたったのでしょうか・・・？

ばあちゃんも・・・、

懐かしい人になってしまいました・・・。

今では・・・、

ばあちゃん・・・、

貴方の気持ちがよくわかります・・・。

ばあちゃんの教えを忘れずに・・・、

精一杯生きていきます・・・。

もう春ですよ・・・、

ばあちゃん・・・。

味千ラーメン・・・。

味千ラーメン・・・。

何だか懐かしい・・・。

子供の頃・・・、

ばあちゃんが連れて行ってくれた・・・。

大学時代にも二人で行った・・・。

もう・・・、

二人で行くことは出来ないけれど・・・。

またいつか・・・、

味千ラーメンを食べに行こう・・・。

ばあちゃんの思い出といっしょに・・・。

最近・・・、ばあちゃんの夢を見なくなりました・・・。

最近・・・、

ばあちゃんの夢を見なくなりました・・・。

忘れるはずなど無いのに・・・、

ばあちゃんの夢を見なくなりました・・・。

どうしてなのでしょう・・・？

ばあちゃん・・・、

夢で逢いましょう・・・。

お彼岸・・・。

お彼岸だから・・・、

お墓参りに行ってきました・・・。

墓掃除もしました・・・。

ちょこっとだけど・・・。

昔は、ばあちゃんと二人で行っていたのに・・・、

今では、私一人で行っています・・・。

ばあちゃんも・・・、

懐かしい人になりましたね・・・。

不思議ですよ・・・、

ばあちゃん・・・。

ばあちゃんのうた 九品蓮台

著 tomo4307

制作 Puboo
発行所 デザインエッグ株式会社
